

令和7年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

自然環境課

1 施設の概要等

施設名	牛小屋高原公園施設		
所在地	山県郡安芸太田町横川		
設置目的	すぐれた風景地である自然公園の利用の増進を図り、もって県民の保健、休養及び教化に資する。		
施設・設備	管理棟、トイレ、ケビン、オートキャンプ場、フリーサイト等		
指定管理者	6期目	R5.4.1～R10.3.31	(株) 恐羅漢
	5期目	H30.4.1～R5.3.31	(株) 恐羅漢
	4期目	H25.4.1～H30.3.31	(株) 恐羅漢
	3期目	H23.11.1～H25.3.31	(株) 恐羅漢
	2期目	H21.4.1～H23.10.31	三段峡観光(株)
	1期目	H18.4.1～H21.3.31	三段峡観光(株)

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数 (有料施設)	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	利用状況	6期	R7	4,200人	3,257人	△431人
R6			4,200人	3,688人	△791人	△512人(87.8%)
R5			4,200人	4,479人	35人	279人(106.6%)
5期平均 H30～R4		3,840人	4,444人	929人	604人(115.7%)	
4期平均 H25～H29		2,000人	3,515人	1,416人	1,515人(175.8%)	
2～3期平均 (2期 H21.4～H23.10) (3期 H23.11～H25.3)		2,000人	2,099人	168人	99人(105.0%)	
1期平均 H18～H20		—	1,931人	398人	—	
増減理由	H17(導入前)					
増減理由	酷暑が長引いたことにより、夏から秋にかけての入場者数が減少し、目標を達成できなかった。					

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	アンケートの実施	利用者 29 件
	【主な意見】	【その対応状況】
	ハチやマムシの対策をしてほしい。	こまめに草刈り等を行うことで対策した。

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務実績報告書
	日報	— 緊急連絡を要する事例の発生なし
管理運営会議(随時)	【特記事項等】 各施設・設備の老朽化対策	
現地調査(10月)	【指定管理者の意見】 利用者増に向け、安全で快適に利用できるよう施設の適切な修繕を行う必要がある。	
	【県の対応】 指定管理者と連携しながら、適宜修繕を実施するとともに、次年度以降の設備改修に向けた調査を実施した。	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	6期	R7	13,401		416	料金収入 (決算額)	6期	R7
R6			12,985	255	R6	4,746			△577
R5			12,730	3,488	R5	5,323			278
5期平均 H30～R4		9,242	1,324	5期平均 H30～R4		5,045		2,107	
4期平均 H25～H29		7,918	126	4期平均 H25～H29		2,938		1,671	
2、3期平均 H21～H24 (2期 H21.4～H23.10) (3期 H23.11～H25.3)		7,792	△1,955	2、3期平均 H21～H24 (2期 H21.4～H23.10) (3期 H23.11～H25.3)		1,267		△106	
1期平均 H18～H20		9,747	△929	1期平均 H18～H20		1,373		113	
H17 (導入前)		10,676	—	H17 (導入前)		1,260		—	

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R7 決算額	R6 決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	13,401	12,985	416	物価高騰に伴う委託料の増
		料金収入 (※1)	4,686	4,746	△60	
		その他収入	73	162	△89	
		計(A)	18,160	17,893	267	
	支出	人件費	2,384	2,447	△63	
		光熱水費	12,225	12,512	△287	利用者数減少による電気代の減
		設備等保守点検費	502	656	△154	衛生設備保守点検費の減
		清掃・警備費等	12	13	△1	
		施設維持修繕費	491	1,132	△641	消耗品の購入費の減
		事務局費	947	633	314	予約サイト導入による増
		その他	0	0	0	
	計(B)	16,561	17,393	△832		
	収支①(A-B)		1,599	500	1,099	
	自主事業 (※2)	収入(C)	3,747	4,153	△406	利用者数減少に伴う減
支出(D)		3,571	3,818	△247		
収支②(C-D)		176	335	△159		
合計収支 (①+②)		1,775	835	940		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業。

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	オートキャンプ場等の施設運営に加え、地元食材を使用したピザづくり体験やアマゴつかみ取り等のイベントを継続して実施した。	人気のあるキャンプ場運営に加え、自然を活かしたイベントを企画・実施するなど、利用者ニーズに対応している。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	県と連携しながら施設の維持修繕を実施した。	利用者が安全で快適に施設を利用できるように取り組んでいる。
	○業務の実施による、施設の利用促進	安芸太田町や地元企業との連携を図り、ホームページやSNSを活用して情報発信を行った。	地元と連携した広報活動に取り組み、利用促進に努めている。
	○施設の維持管理	場内の景観向上のため、こまめに草刈りを行うとともに、道路の舗装の補修を行い、利用者の安全確保に努めた。	公園の安全対策や魅力を向上させ、快適な利用環境の提供に努めている。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	予約状況に合わせ、計画的に職員配置を行った。	職員の適正配置を行っている。
	○効率的な業務運営	スケジュールアプリを利用したシフト調整を行うなど、業務の効率化を図るとともに、新規採用者の教育に努めた。	効率的な業務運営に努めている。
	○収支の適正	前年度に引き続き、黒字を確保した。	今後も利用促進に努め、収支の適正化を図りながら、黒字運営を継続する必要がある。
総括		利用者ニーズを的確に把握し、速やかに対応することで固定客の継続利用に繋げた。また、新たな利用者呼び込むため、イベントの開催や情報発信を行った。	魅力的な施設となるよう、利用者ニーズへの対応や新たな取組を行うことで利用者の満足度を高めていることは評価できる。

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和8年度)	利用者に好評なイベントを継続して実施するとともに、新規のイベントを企画し、更なるリピーターの獲得を目指す。	施設の魅力を高めるため、新規イベントの企画や実施を支援する。
中期的な対応	老朽化した施設の維持・修繕においては、点検を通じて安全確保に努めるとともに、県と協議しながら計画的に修繕を実施する。	指定管理者と連携し、優先度の高い箇所から計画的に施設の維持・修繕に対応する。